



平成 18 年 1 月 31 日

各 位

会社名 日本特殊陶業株式会社
代表者 取締役社長 加藤 倫朗
(コード番号 5334 東証・名証第1部)
問合せ先 経理部長 柴垣 信二
TEL (052) 872-5918

業績予想の修正並びに有形固定資産の残存価額の変更に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 17 年 11 月 8 日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 11 月 8 日発表)	271,000	37,500	23,100
今回修正予想 (B)	281,000	42,600	25,100
増減額 (A - B)	10,000	5,100	2,000
増減率	3.7	13.6	8.7
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	241,185	27,711	17,147

(参考) 修正後の 1 株当たり予想当期純利益 112 円 93 銭

2. 平成 18 年 3 月期の単独業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 11 月 8 日発表)	236,000	30,000	18,500
今回修正予想 (B)	247,000	34,900	20,300
増減額 (A - B)	11,000	4,900	1,800
増減率	4.7	16.3	9.7
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	210,496	22,496	14,038

(参考) 修正後の 1 株当たり予想当期純利益 91 円 27 銭

(注) これらの予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3. 業績予想の修正の理由

自動車関連事業の業況はプラグ・センサ共に新車組付需要で日本車シェアの拡大による好調な国内外の生産に牽引され、補修用においても米国・アジアをはじめとした海外市場で高水準が続いています。情報通信・セラミック関連事業においても、主力であるMPU用ICパッケージが世界的なパソコン販売台数の増加に支えられて受注が拡大しています。また当中間期末以降、年末にかけて為替相場が予想以上の円安で推移したこともあり、平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想を連結・単独ともに前ページのとおり修正します。

4. 有形固定資産の残存価額の変更について

従来、有形固定資産の残存価額は取得価額の5%としておりましたが、実質残存価額(備忘価額1円)へ変更することとしました。これは、有形固定資産の耐用年数経過後の処分可能価額は概ね零であり、処分費用を要する現状を踏まえたものです。

これに伴って営業費用に減価償却費として約4億円を追加計上するとともに、過年度分について臨時償却費として約25億円を特別損失に計上する見込みとなりましたので、前ページの業績予想に折り込んでいます。

以 上